

令和5年度

よく学び力をつける子 友達となかよくできる子 はつらつと体をきたえる子



とよはる

みんな友達 豊かな心 あふれる意欲

<http://schit.net/kasukabe/estoyoharu/>

春日部市立豊春小学校

学校だより8・9月号

児童数549人

春日部市道順川戸 37-1

令和5年8月29日



思いやりの心をもとう

～ スーパー元気さわやか集会に向けて ～

校長 松原秀樹

夏休みが終わり、子ども達の元気な声が豊春小学校に戻って来ました。今日から第2学期の始まりです。

1学期の終業式には「夏休みにしかできないことに挑戦しよう」と話をしました。それぞれ、思い思いの素敵な夏休みを過ごせたことと思います。学校では、5年生が夏休み早々に林間学校を実施し、谷川岳の登山、キャンプファイヤー、ロープウエイで上ったアルプの里でのハイキングやボブスレー体験等、新潟の自然を満喫してきました。春日部市教育委員会表彰の表彰式、東部地区人権教育実践報告会での作文発表、有志による「とよっち合唱団」のNHKコンクール予選会出場など、たくさんの豊春っ子たちの活動や活躍がありました。

さて、表題にあります「思いやりの心をもとう」は、春日部市で4半世紀継続して取り組んできたスーパー元気さわやか集会、豊春中学校、豊春小学校、宮川小学校3校共通の今年度のテーマです。スーパー元気さわやか集会は、平成6年に愛知県で起きた中学生いじめ事件を契機に平成8年度から取り組み始めました。「みんなが明るく仲良く元気に生活できる学校になるよう、学校・家庭・地域が一つとなって、いじめを許さない土壌作りを図る。」ことが目的です。本校ではあいさつにきちんと取り組むことで「思いやり」を育むこととしました。①あかるく元気に②いつでも目を見て③自分からさきに④つづけて、つなげようみんなの心、をあいさつの心得としていきます。

「思いやり」といえば、宮沢章二さんの詩『行為の意味』を思い出します。

(前略)・・・胸の中の思いは見えないけれど 思いやりは見えるのだ

それは 人に対する積極的な行為なのだから

あたたかい心が あたたかい行為になり

やさしい思いが やさしい行為になるとき

「心」も「思い」も 初めて美しく生きる

それは 人が人として生きることだ (宮沢章二『行為の意味』一部抜粋)

思いやりの心を持ち、思いやりの行動(ACTION)ができる豊春の子ども達を育てていきたいと思ひます。保護者、地域の皆様にはさまざまな面でお世話になります。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

7・8月の教育活動より

4年生 観劇鑑賞



7月4日(火)に4年生が校外学習で、日生劇場に「ジャック・オー・ランド～ユーリと魔物の笛～」を観に行きました。子ども達の鑑賞マナーがとてもよかったです。本物の劇に触れる貴重な体験となりました。

5年生 林間学校



7月21日(金)22日(土)に5年生が新潟県湯沢町方面へ林間学校に行きました。友達と励まし合いながら、天神峠をハイキングしたり、キャンプファイヤーで友情を深めたりすることができました。保護者の皆様、ご支援ご協力ありがとうございました。

トイレ改修工事



7月に体育館脇に仮設トイレができました。児童にはこちらのトイレも利用するようにいたします。

9月の第2週には、児童棟のトイレが新しくなり、使用できるようになります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

除草作業



8月20日(日)に、上蛭田地区の皆様が、学校の除草作業をしてくださいました。正門付近や中庭、学年園、体育館周辺がきれいになりました。暑さの厳しい中ご尽力いただきありがとうございました。

夏季校内教職員研修会



2学期に向けて、「服務研修」「道徳教育研修」「人権教育」「特別支援教育研修」など様々な教職員研修を行いました。学んだことを今後の教育に生かし、「心が通い合い笑顔になれる学校」を創ってまいります。